

語ろう 使おう しまくとうば

かたらな ていからな しまふとうば

くだかふとうば (久高島ことば)

🔊 スピーカーをクリックすると、
音声が流れます。



本書を利用するにあたって

本書『**かたらな ていからな しまふとうば**』は、久高出身の話者、西銘政秀さんを中心に、久高島の皆様の協力を得て作成しました。

「しまくとうば」の表記は、カタカナやローマ字、^{おん}音声記号で表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。

しかし、「しまくとうば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記している箇所もあります。

また、「しまくとうば」には、一つのひらがなやカタカナでは書き表すことのできない音があります。それを表すために、特別な表記を使っている語もあります。

この本を読む前に、右頁にある「特別な表記についての説明を読んで、ご理解くださいますようお願い致します。

特別な表記について

本書を利用する際、「**っん**」や「**すい**」など、日ごろ目にすることのない表記があることに気がつくと思います。これらの表記について、ここで説明します。

①^{のど}咽喉に力を入れて発音する音（^{せいもんへいさおん}声門閉鎖音）

発音の出だしに、^{のど}咽喉に力を入れて発する音を声門閉鎖音といいます。この音は日本語の共通語には普通みられない音なので、かな文字がありません。ですから、かな文字を2字組み合わせ、左上に小さな「っ」を添えて書き表しました。例えば、久高島ことばの「**っんなとう**」（港）のように、通常の「**ん**」を、のどに力を入れて発する音を「**っん**」と表しています。この音はなかなか発音しづらいのですが、「う」と「ん」を区切って発音し、それを次第にちぢめていって同時に調音すると「**っん**」と似た音を発音できるようになるでしょう。

②やわらかい発音ではじまる音がある（ゆるやかな声立て）

①の「のどに力を入れて発音する音」とは真逆のような音で、出だしに全く力を入れずに発音するのが、この音の特徴です。本書では、この音を表すために左上に小さな「い」や「う」を添えて「**いゃ**」や「**うう**」で表記することにしました。

この音の特徴は、通常の1音の長さより、ほんの少しだけ長め（1.2～1.3倍ぐらい）の音であることです。

また、「**いや**」のときには唇を平たくしてあまり開けずに、「**うう**」のときには唇を丸めて少し突き出すようにすると上手に発音できるようになります。

③伸ばす音は「ー」で！

母音が伸びるとき、音を区切って発音することはありません。例えば「獅子」を意味する「**しーさー**」は、通常の発音では「し」「い」「さ」「あ」と区切って発音することはありません。「**し**」の口構えて1拍伸ばし、「**さ**」の口構えて1拍伸ばして発音します。

本書では、「**しー**」「**さー**」と表記することにします。

④半角スペースについて

「だ」「です」にあたる「**やん**」「**やいびーん**」「する」にあたる「**すん**」（ただし、複合動詞のみ）が、前の要素に付く場合には、見やすさを考慮して、半角分のスペースを空けました。

⑤くだかふとうば（久高島ことば）の特徴について

久高島は、沖縄本島の南側にありますが、そのことばには、北部のことばと似ている箇所があります。例えば、中南部の多くの地域で「**ひじ**（髭）」、「**うふおーく**（たくさん）」となる語が、久高島では「**ぴじ**」「**うぼーく**」と発音され、北部地域でよくみられるような「ハ行」の音が「パ行」に変化するという特徴があります。

また、久高島ことばの大きな特徴として「**さ**」「**し**」「**す**」「**せ**」に似ている音ですが、「**た**」「**てい**」「**とう**」「**て**」のようにも聞こえる音があります。本書では、この音を「**さあ**」「**すい**」「**すう**」「**せえ**」と表記しました。例えば「手」を久高島ことばでは、「**すいー**」と言います。この「**すい**」の音の出し方ですが、「**し**」を発音する際には舌の先が歯茎に付きます。その舌の先が、上の前歯茎に軽く付くようにして「**し**」と発音すると、この「**すい**」の音に近づきます。

また、この発音に近い音として、「ファ行」のことばがあります。「**ふあな**（鼻）」、「**ふあー**（歯）」の「**ふあ**」の音が「**ば**」にも聞こえる久高島特有の発音になっていますので、本書では「**ふあ**」「**ふい**」「**ふう**」と太字で表記しています。聞き取ることが難しい音ですが、是非、音声で確認してみてください。

他にも、他の中南部地域で「**くとうば**（ことば）」、「**けーら**（帰ろう）」と発音する語が、久高島では「**ふとうば**」「**へーら**」のように「カ行」が「ハ行」となる語がみられるなど、他地域とは異なることばも多くあります。

1, 挨拶ことば……………8

- ◆朝起きたとき (8)
- ◆ごはんを食べるとき (9)
- ◆出かけるとき (10)
- ◆外で友人に出会ったとき (10)
- ◆(午後の時間帯で) 外で知人に出会ったとき (11)
- ◆仕事場から帰るときの挨拶 (12)
- ◆夕方・夜の挨拶 (13)
- ◆二回目以降のときの挨拶 (14)
- ◆その他の挨拶ことば (15)
- ◆大晦日・正月の挨拶 (17)



2, 自己紹介……………18

- ◆自己紹介 (18)
- ◆家族を紹介します (19)



3, 身体用語……………20

- ◆身体を表すことば (20)
- ◆身体に関連することば (22)



4, お祝いや行事で使えるしまくとうば……………24

- ◆お祝いのことば (24)
- ◆「おめでとうございます」を表現することば (25)

- ◆行事の際に使うことば (25)

5, 拝みのときに使うしまくとうば……………28

- ◆祈願することば (28)
- ◆まじないことば (29)



6, 病院での会話……………30

- ◆診察のときの受け答え 1 (30)
- ◆診察のときの受け答え 2 (32)

7, その他……………34

- ◆食事のときに使うことば (34)
- ◆食味をあらわすことば (35)
- ◆問かけのことば (35)



8, 久高島来訪者との会話……………38

- ◆伊敷浜に行く (38)

9, 地域の特徴……………40

- ◆沖縄県の様子 (40)
- ◆久高島の特徴 (42)
- ◆観光案内 (42)



- ・フボー御嶽
- ・御殿庭
- ・伊敷浜
- ・外間御殿





1, 日常的な挨拶

挨拶ことば (ふいーじーぬ えーさあち ふとうば)



◆朝起きたとき

- ・お目覚めですか？ (目上の人に対して)

うきやびたいや？

なま、うきたん！

- ・もう起きたの？ (同年や目下に対して)

なー うきたいや？

- ・今、起きたよ。

なま、うきたん。

- ・早く起きなさい。もう朝だよ。 (同年や目上に対して)

はーく うきりば。なー ひていみてい なとうーん
どー。

- ・朝ごはんは召し上がりましたか？ (目上の人に対して)

ひていみていむのー うさがいびたいや？

※ひていみていむん = 朝ごはん

- ・朝ごはんを召し上がってください (食べなさい)。

ひていみていむん うさがいんそーりば (けーば)。

- ・朝ごはんは食べたの？ (食べた？) (子どもや目下に対して)

ひていみていむのー かたいや？

※沖縄には共通語にあるような「おはようございます」や「おはよう」にあたる挨拶言葉はありません。「こんにちは」や「こんばんは」も同じです。



◆ごはんを食べるとき

- ・お召しあがりください。

うさがいびたいや。

うさがいびたいや。

- ・さあ、いっしょに食べましょう (食べよう)。

りか、まじょーい くわっちー さびらな (くわっちー
さ)。

- ・いっしょに食べませんか (食べよう)。

まじょーい くわっちー さびらな (くわっちーさ)。

- ・いただきます。

くわっちー さびら！

くわっちー さびら。

※くわっちー = ごちそう

- ・ごちそうですね (ごちそうだね)。

くわっちー やいびんやー (くわっちー やっさー)。

- ・ごちそうさまでした (ごちそうになりました)。

くわっちー さびたん (くわっちー ないびたんどー)。

- ・大変おいしかったです (おいしかった)。

でーじな んまさあいびたんどー (んまさあはー)。

- ・このお菓子をいただきましょう。 (丁寧な言い方)

うぬ あまーぐわー くわっちー さびら。

- ・このお菓子を食べよう。 (同年や目下の人に対して)

うぬ あまーぐわー かー。





◆出かけるとき

- ・行ってきます（行ってくるね）。

㇏んじ しゃーびらい (㇏んじ ふーい)。

- ・行かれるのですか？（行くの？）

いきゃびーや？ (いきーや？)



- ・気をつけて行ってらっしゃい。（目上の人に対して）

きー ていきてい いきんそーりよー。

- ・気をつけて行きなさい。（同年や目下の人に対して）

きー ていきてい いきよー。

◆外で友人に出会ったとき

- ・きょうは、良い天気ですね（天気だね）。

すーや、ぎー わーていき やいびんみゃー。（目上へ）

すーや、ぎー わーていきやー。（同年や目下に対して）

※すー＝きょう あちゃー＝明日 きぬー＝昨日

- ・きょうは早起きですね（早起きだね）。

すーや ふゃーうき やいびんみゃー。（目上に対して）

すーや ふゃーうき やんやー。（同年や目下に対して）

- ・どちらへお出かけですか？（目上の人に）

まーち やいびーが？

まーちが？

- ・どこへ行くの？（同年や目下の人に対して）

まーちが？



- ・用事をしにいらっしゃったの？（行ったの？）

ゆーじゅ しーがる いきゃびたねー？（目上に対して）

ゆーじゅ しーがる んじゃねー？（同年や目下に対して）

- ・畑へ行ったのですか？（行ったの？）

ふあたきちる いきゃびたねー？（目上の人に対して）

ふあたきちる んじゃねー？（同年や目下の人に対して）

※「ふあたきちる」の「ちる」ですが、「ち」は格助詞の「へ」となり、方向を表します。「る」は、係助詞の「ぞ」となり、強調を表す語となります。

- ・がんばっていますね（がんばっているね）。

ふあまやびとうーんみゃー。（目上の人への挨拶として）

ふあまとうーんみゃー。（同年や目下の人への挨拶として）

◆（午後の時間帯）外で知人に出会ったとき

- ・何をしているのですか？（目上の人に対しての声かけ）

ぬー ちゅー やびーが？

ぬー ちゅーが？

- ・何しているの？（同年や目下に対して）

ぬー ちゅーが？

- ・お元気ですか？〈体 頑丈ですか〉（目上の人に対して）

はらた がんじゅー ちゅー やびーや？

- ・元気か？（同年や目下に対しての声かけ）

はらた がんじゅー やいや？





◆仕事場から帰るときの挨拶

- ・気をつけてお帰りくださいね。(目上の人に対して)

きー ていきてい へーいんそーりよー。

- ・気をつけて帰ってね。(同年や目下の人に対して)

きー ていきてい へーりよー。

また あちゃー！

- ・また明日ですね。(目上の人に対して)

また あちゃ やいびーるやー。

- ・また明日ね。(同年や目下の人に対して)

また あちゃやー。



※返事の言葉は、目上に対しては「おー」。同年代や目下に対しては、「んー」が使われます。

- ・さあ、一緒に帰りましょう。(目上の人に対して)

りか、まじゅーん へーやびら。

- ・さあ、一緒に帰ろう。(同年や目下の人に対して)

りか、まじゅーん へーら。



- ・さあ、疲れを癒^{いや}しに行きましょう。(目上の人に対して)

りか、ぐたいのーしぐわー しーが いきやびら。

- ・さあ、疲れを癒^{いや}しに行こうか？(同年や目下の人に対して)

りか、ぐたいのーしぐわー しーが いか？

- ・そうですね(そうだね)。

あん やいびーんやー (あん やさあやー)。



- ・そうですね。どこへ行きましょうか。(目上の人に対して)

あん やいびーんやー。まーち いきやびーが？

- ・そうだね。どこへ行こうか？(同年や目下の人に対して)

あん やさあやー。まーち いきが

◆夕方・夜の挨拶

なま、へーやびたん！

- ・ただいま(今、帰りましたよ)。

なま、へーやびたんどー。(目上の人に対して)

- ・ただいま(今、帰ったよ)。

なま、へーたんどー。(同年や目下に対して)

- ・今お帰りですか。疲れてないですか？(夫や目上に対して)

なまる へーやびたねー。ぐたたー あいびらねー？

※ぐたとうーん=疲れている

- ・今帰ったの。疲れてない？(同年や目下に対して)

なまる へーたねー。ぐたたー なーねー？

- ・もう遅くなっているので寝ましょうね。(※寝る人の言葉)

なー みんなあ なとうーくとう にんじゃびら。(目上)

なー みんなあ なとうーくとう にんらい。(妻や目下の人に対して)

※みんなあん=遅い

- ・おやすみなさい。(「寝てください」=寝る人へ返すことば)

にんじんそーりば。





◆二回目以降のときの挨拶

- ・元気でしたか？（「体は丈夫でしたか」＝目上の人に対して）

はらた がんじゅーさあ やいびたいや？

- ・元気だった？（「体は丈夫だった」＝同年や目下の人に対して）

はらた がんじゅーさあ やたいや？

- ・久しぶりだね。（同年や目下の人に対して）

ぐぶりー なとうっさー。 <ぐぶりー なとうっさー！>

- ・最近見かけませんでしたが、忙しかったのですか？

ちかぐる みーるーさいびーたふいが、いちゅなさあ
る あいびたね？

- ・最近見なかったけど、忙しかったの？（同年や目下に）

ちかぐる みーるーさあたふいが、いちゅなさる あ
たね？

- ・きょうも暑いですね。（目上の人に対して）

すーん あすいさあいびーんみゃー。 あすいさあんみゃー！

- ・きょうも暑いね。（同年や目下に）

すーん あすいさあんみゃー。

- ・そうだね、きょうも暑いね。

やっさーや、すーん あすいさあんみゃー。

- ・毎日、良い天気ですね。

めーにち、ぎー わーていき やいびんみゃー。



- ・きょうも寒いんですね。（目上の人に対して）

すーん ふいーさあいびーんみゃー。

- ・きょうも寒いね。（同年や目下の人に対して）

すーん ふいーさあんみゃー。

- ・寒くなりましたね。

ふいーさあ ないびたんみゃー。

- ・寒くなったね。

ふいーさあ なたんみゃー。

◆その他の挨拶ことば

- ・ありがとうございます（ありがとう）。

にふえーでーびる。

- ・ありがとうございました。

にふえーやいびたんろー。

- ・ごめんなさい。

わっさあたはー。

- ・悪うございました。

わっさあいびーたん。

- ・失礼します（失礼しました）。

ぐぶりー さびらいいー（ぐぶりー さびたん）。

- ・ごめんください。

さーびら。



ふいーはん！

わっさあいびーたん！



さーびら！





・いらっしゃいませ。(来客者に対して「お入りください」の意)

いめーんそーりば。(目上の人に対して)

いーんそーりば。(お客さんに対する丁寧な言い方)

・お上がりください。

あがいんそーりば。(来客者や目上の人への丁寧な言い方)

あがりば (いーば)。(「上がって」知人や目下に対して)

・いらっしゃる (来る)。

さーびーん (すーん)。

・先生はいらっしゃるの? (丁寧な言い方)

しんしーや さーびーや?

・先生は来るの?

しんしーや すーいや?

・ここへいらっしゃい。(目上に対して)

んまち いめーんそーりば。

・ここに来いよ (来なさい)。(同年や目下に対して)

んまち ふーば。

・いらっしゃい。お茶を召し上がってください。(目上に)

いめーんそーり。ちゃー うさがいんそーりば。

いめーんそーり。ちゃー うさがりば。

・おいで (来いよ)、お茶でも飲んで。(知人や目下に対して)

ふーば、ちゃー めんば。

あがいんそーりば。

ちゃー うさがりば!



◆大晦日・正月の挨拶

・きょうは大晦日ですね。(目上の人に対して)

すーや とうしぬ ゆる やいびんみゃー。

・きょうは大晦日だよ。

すーや とうしぬ ゆるろー。

・明日は正月だよ。

あちゃー そーぐわちろー。

・新しい年を迎えて、良い年になりましたね。

みーすうし んけーてい、ぎー すうし なとういび
んみゃー。

・きょうは良いお正月ですね。

すーや ぎー そーぐわち ないびたんみゃー。

・良い正月だね。

ぎー そーぐわちやー。

・今年もよろしくお願いします。

ふたびん ゆたしく うにげー さびやびら。



(旧正月の祈願) ふえーながーき (クエーナガキ)

そーぐわち んけーてい、ぬるが はみねーぬ いちにんぬ にげー
ぐとが あいびーん。うりる ふえーながーきっち いやびーん。

(正月を迎えて、ノロが神様への一年の祈願を行います。それを古謡掛〈クエーナガキ〉と言います。) ※クエーナ=宗教的儀礼の場で神女などの特定の存在によって唱え、歌われた呪祷的歌謡。



2, 自己紹介



◆自己紹介

- ・こんにちは。私の（家の）名前は外間です。

はいさい。わー やー なーや ふうかま やいびーん。

- ・私は長裕です。海人（漁業）をしています。

わん なーや ながひろ やいびーん。うみんちゅ
やいびーん。

※「私は」を表す「わん なーや」が、「わなー」と縮まった言い方もあります。

- ・出身（生まれ）はどこですか？

んまらー まー やいびーが？

- ・久高島の生まれです。

くだか んまり やいびーん。



- ・趣味（楽しみ）は何ですか？

たぬしみゃー ぬー やいびーが？

- ・私は、野球を見るのがとても好きです（野球観戦が趣味です）。

わなー やきゅー みーすいが うみきち すいき
やいびーん。

- ・相撲を見るのが好きです。

しま みーすいが すいき やいびーん。



◆家族を紹介します

- ・私の家族は、祖父の一郎、祖母の富子、父の次郎、母の直美、妹の一枝です。家族はみんなで6人です。

わったー やーにんじょー、うぶ すーぬ いちろー、
ふぁーふぁーぬ とみこー、ゆきがん うやぬ じ
ろー、ゆなぐん うやぬ なおみ、ゆなぐ うっとうぬ
かずえ やいびーん。やーにんじょー んなさーい
るくにん やいびーん。



祖父（うぶ すー）



祖母（ふぁーふぁー）



父（ゆきがん うや・ちゃーちゃー）



母（ゆなぐん うや・あんまー）



私（わん）



妹（ゆなぐ うっとう）

姉（すいら ゆなぐ） 兄（ゆきが すいら）
兄弟・姉妹（ちょーれー） 弟（ゆきが うっとう）
年上（すいら・とうし うい） 年下（うっとう） 男（ゆきが）
女（ゆなぐ） 赤ちゃん（あかんぐわ） 孫（んまが）
従兄弟（いちく） 甥（ぐいつくわ） 姪（みーつくわ）
親より年上の伯父（うぶ ちゃーちゃー）
親より年下の叔父（ぐんちゅーぐわー）
親より年上の伯母（うばん） 親より年下の叔母（ばーちーぐわー）

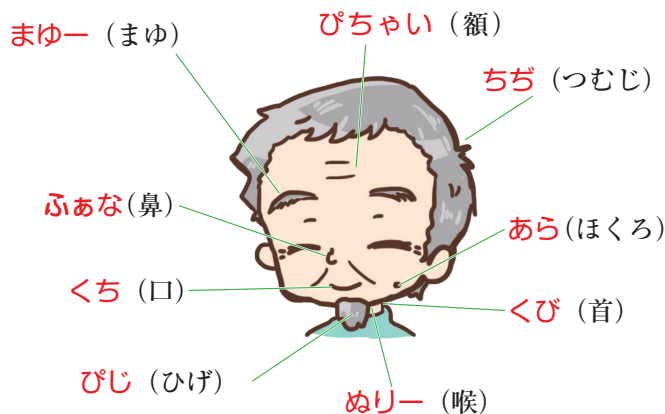
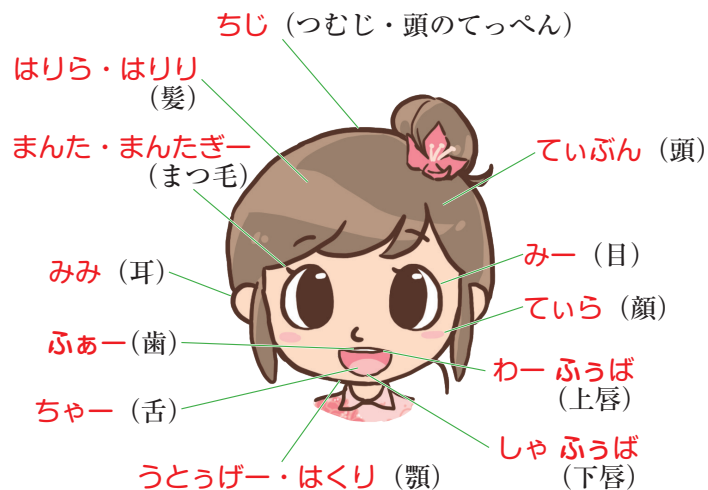


3, 身体用語



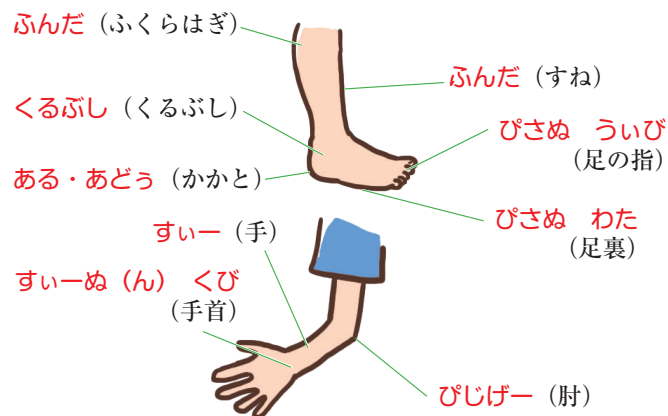
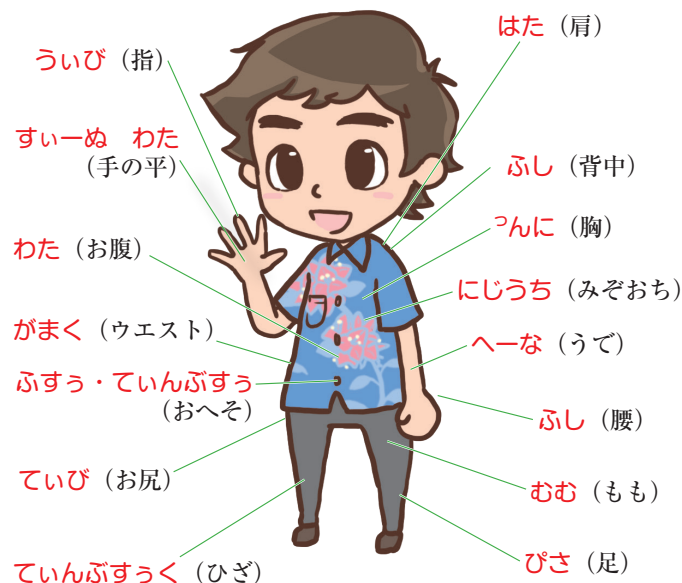
◆身体を表すことば (はらた あらわすん ふとうば)

～頭から足先までのくだかふとうば～



ぴじやい (左)

にじり (右)





◆身体に関連することば

いき (息)

いき きやすん (息を切らせる)



あすい (汗)

あすい はきやー (汗かき)



なら (涙) なら よーさあん (涙もろい)

なら ぐるぐるー (今にも涙が落ちようとする様子)



つつペー (唾)

さあくい (痰)

ふあな ぶきやー (いびきをかく人)

はさあくい (咳)



ヘーぶたー

(太っている人)



よーがらー

(やせている人)

よーがり ぴーがり

(痩せてガリガリの様子)



わじーん (怒る)

わじやー (怒りんぼ)



さあーふーふー (ほろ酔い)

ぐいちゃー (酔っ払い)

ぐいとうーん (酔っている)

ぐいている ぐね? (酔っ払っているのか?)

ぐてー ちゅーばー (力の強い人) うとうるー (柿がり)

まぎつつゅ (体の大きい人)

うぶやすいー (おとなしい)

4, お祝いや行事等で使えるしまくとうば



乾杯、結婚式、祝賀会等の祝福、お悔やみ

◆お祝いのことば

- ・きょうはご案内いただき、ありがとうございます。

すーや うんていけー しんそーち、にふえーれーび
る。

にふえーれーびる！



- ・ひと言、挨拶をします。

ちゅくとうば、うんぬき やびら。

- ・皆さまの健康を願って乾杯しましょう。

すりずりー はらた がんじゅー はりー さびら。

- ・こんなに大きなお祝いをしてもらって、ありがとうございました。

あんち まぎ ういえー しんそーち、にふえーやい
びたん。

- ・あの人には、私はとても恩があるよ。

あんちゅねー、わなー うぼーく ぐんじが あん
ろー。

結納 (むすうびだき) 結婚適齢期 (すうしぐる)

結婚 (みーびき) 指輪 (いーびなぎー)

盛大な結婚式 (まぎ みーびき)

お祝い (ういえー) 仲人 (なかだていんちゅ)



◆「おめでとうございます」を表現することば

- ・あなたがチャンピオンになったので、親戚は自慢できるよ (誇りだよ)。

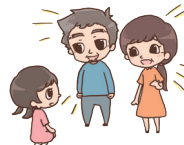
やーが チャンピオン なたくとう、えーかんさあー
や じまんないんろー。

- ・あなたが試験に合格したので、とても嬉しいよ。

やーが 試験 ごーかく ちゃくとう、うぼーく う
むっさんろー。

- ・高校合格おめでとう (頑張ったね)。

こーこー ごーかく ちばたんやー。



- ・赤ちゃんが産まれて、安心できましたね。「おめでとう」を表現することば)

あかんぐわ んまってい、ゆるっとう ないびたん
みやー。

◆行事の際に使うことば

○清明祭 (しーみー)

- ・ご先祖様、子や孫が揃って清明祭に来ていますよ。

うやふあーふじぬめー、くわ んまぐわん すうるてい
しーみー しーが ちょーいびんろー。

- ・ご先祖様に、手を合わせましょう。

うやふあーふじぬめー、すいー うさぎやびら。





- ・手を合わせてから、お供え物をいただきますよ。

すいー うさぎていから、うさぎむん くわっちー
さびら。

- ・子や孫を見守ってください。

くわ んまぐわ みーまんてい くいみそーり。

○七夕 (たなばた)

- ・お墓の掃除に来ました。

ふぁか そーじ しーが さーびたん。

- ・お墓の掃除に来ていますよ。

ふぁか そーじ しーが ちょーいびーんろー。

- ・お盆には、みんな揃っておいでください。

すいていぐわていぬ ていーん、んな すうるてい
いもーりんそーりばやー。



※旧暦7月7日の七夕の日には墓掃除をします。旧暦7月13日から15日（一部の地域では16日）の盆にむけて、ご先祖が気持ちよく帰ってこれますようにとの気持ちが込められています。

○旧盆 (すいていぐわてい)

- ・(祖霊を) お迎えしましょう (お迎えしよう)。

んけーやびら (んけーら)。

- ・(仏壇の供え物を) お下げいたします。

さあんれー さびら。



- ・(お下げした) 供え物をいただきますよ。

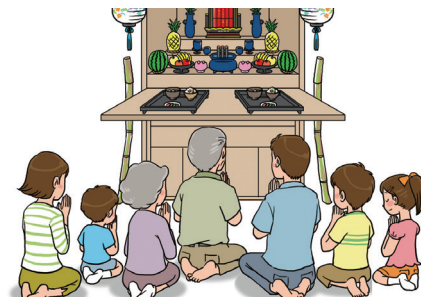
うさぎむん くわっちー さびら。

- ・お見送りしましょう。

うーくい さびら。

- ・来年も迎えさせてください (いらしてください)。

やいん んけーらりんそーりよー。



○「お悔やみ」に関することば

- ・どこが悪かったんですか？

まーが わっさいびーたがやー？

- ・どこが悪かったの？

まーが わっさたが？

- ・気を強くお持ちください (持ちなさいね)。

きー つーく むちんそーりよー (むていよー)。

きー つーく
むていよー！



らび (葬式) ふつだん (仏壇)

そーこー (法事・年忌の法要)

※葬儀の後の七日ごとの法事の事 ふぁていなんか (初七日)
しんじゅーくにち (四十九日)



5, 拝みのときに使うしまくとうば



火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば

- ・きょうは、屋敷の御願（祈願）を捧げます。

すーや、やしきぬ うぐわん さびーんろー。

- ・良い正月ですね。健康を祈りましょう

ぎー そーぐわち やいびーんやー。はらだ がん
じゅー にげーやびら。

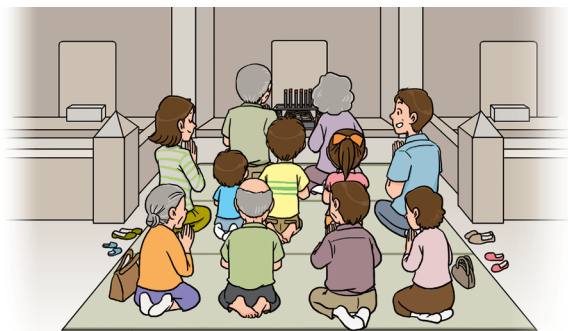
- ・ご先祖様、見守っていてください。

うやふあーふじぬめー、みーまんてい くいんそーり
よー。

○十六日祭（旧暦1月16日に行う墓参り）の際の祈願ことば

- ・きょうは十六日祭です。お供えします。

すーや じゅーるくにちー やいびんろー。うさぎや
びーんろー。



○屋敷の御願（やしきぬ うさあんみ）

- ・きょうは、屋敷の御願を捧げますので、いつでもお守りください。ありがとうございます。

すーや やしきぬ うさあんみ さびーくとう、いてい
ん みーまんてい くいんそーりよー。にふえーでー
びる。

※うーとーとう＝神や祖先を拝むときに発することば。「あ
あ、尊^{とうと}」

※ふいぬかん＝火の神：台所に祀られている神。

※うぐわん ぶすうく＝御願不足。神や祖先への祈願や儀式
などが、十分にされていないこと。)

※ふーるぬ はみ＝トイレの神様。

まんぶかねー
すいばる ないる！



◆まじないことば

○魂を込める祈願（まんぶかねー）

- ・魂を落とす。

まぶい うとうつん。

- ・魂を落としたので、魂込めのお祈りをしないとイケないよ。

まぶい うとうつーくとう、まんぶかねー すいばる
ないる。



6, 病院での会話



◆診察のときの受け答え 1

- ・お元気ですか？

がんじゅー やいびーや？

- ・夜は眠れましたか？（眠れた？）

ゆるー にんらりやびーたいや？（にんらったいや？）

⇒昨日はよく眠れたよ。

きぬーや ゆー にんだったんどー。

⇒よく眠れなかったよ（眠れなかったね）。

ゆー にんだらんたっさー（にんだらんたっさーやー）。

- ・きょうは、どんな調子ですか？（どんな調子？）

すーや、きゃー やいびーが？（きゃー やが？）

⇒きょうは良い気分だよ。

すーや ギー やんべー やっさー。

⇒きょうは良い気分ではないね。

すーや あんまり あらんさー。

- ・どこか悪いところはない？

まーがら わっさあん ふあたー なーにー？

⇒頭が痛いよ（痛い）。

ていぶんが やみっさー（やみん）。

⇒きょうはだるい。 すーや だるさっさー。

にんらりやびーたいや？



⇒頭が重いな。

ていぶんが うぶさあっさー。

- ・どうしましたか？（どうした？）

きゃー さびたが？（きゃー ちやが？）

⇒風邪をひいて寒いな。

ふあな ぴち ふいーさっさー。

- ・いつもと変わった様子はないですか？

ふいーじーとう はわとーん よーそー なーにー
ちー？

- ・どこか悪いところはないですか？

まーがら わっさあん ふあたー なーにーちー？

- ・どこか痛いところはないですか？

まーがら やみん ふあたー なーにーちー？

- ・どこが痛いですか？（どのように痛むの？）

まーが やまびーが？（きゃーち やみーが？）

- ・差し支えありませんか？（心配ないか？）

ていけー あいびらにー？（ていけー なーにー？）

- ・痛いかもしれませんが、一緒に頑張りましょう（頑張りうね）。

やみんふあり やすいが、まじょーん がんばやびら
（がんばらやー）。

きゃー さびたが？





◆診察のときの受け答え 2

- ・熱を測りますので、ベッドで横になってください。

にてい ふあかいくとう、ベッドんじ ゆく ないん
そーり。

- ・着ている服を着替えてください。

きつーぬ ていきぬん へーいんそーり。

- ・危ないですよ（危ないよ）。

うかーさいびんろー（うかーさんろー）。

- ・顔を洗ってください（顔を洗おうね）。

ていら あらいんそーり（ていら あららやー）。

- ・どのような食べ物が好きですか？

きやーねーじゅー けーむんが すいき やいびーが？

- ・食べ物は何が好きですか？

けーむのー ぬーが すいき やいびーが？

- ・毎日、食事は美味しく召し上がっていますか？

めーにち、けーむのー んまさあっち うさがいん
そーつーいや？

- ・毎日の楽しみは何ですか？

めーにちぬ たぬしみや ぬー やいびーが？

- ・何をして一日を過ごしていますか？

ぬーち ぴっちーや うくとういびーが？



- ・何か心配事はありませんか？

ぬーがら しわぐと あいびらに？

- ・早く元気になってくださいね。

はーく がんじゅー ないんそーりよー。

- ・歩かないと元気になりませんよ。

あっかんば がんじゅー ないびらんろー。

- ・おしっこを我慢してませんか？

しーばい にりたー ぐいびらにー？

- ・トイレに行ってきたのですか？

べんじょちる いきやびたにー？

- ・トイレに行きたいのなら遠慮せずに言ってくださいね。

べんじょち いきぶさ ないんさこー えんりよさん
ぐとう いんそーりよー。

- ・きょうはよく頑張りましたね。

すーや ゆー ちばやびたんみやー。

- ・お元気でいらしてくださいね！

はらだ がんじゅーつち いもーりよー。

⇒はい、ありがとうね。

うー、にふえーろー。

⇒あなたも元気でな。

やん はらだ がんじゅー しよー。





7, その他



日常でよく使うしまくとうば

◆食事のときに使うことば

- ここに置いときますね。

うちゅきんろー！



ふまかい うちゅきんろー。

- どのような食べ物が美味しいですか？（目上の人）

きゃーねーじゅー けーむんが んまさあいびーが？

- どのような食べ物が美味しいか？（同年や目下の人）

きゃーねーじゅー けーむんが んまさあが？

- どのような食べ物が好きですか？（目上の人に対して）

きゃーねーじゅー けーむんが すいき やいびーが？

- どのような食べ物が好きか？（同年や目下の人に対して）

きゃーねーじゅー けーむんが すいきが？

- たくさん食べてくださいね？

うぱーく けーいんそーりよー？

- 美味しいですか？（目上の人に対して）

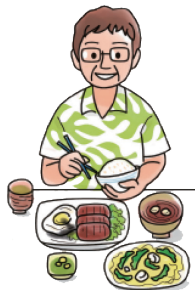
んまさあいびーや？

- 美味しい？（同年や目下の人に対して）

んまさあいや？

- 美味しかったですか？（目上の人に対して）

んまさあいびーたいや？



- 美味しかった？（同年や目下の人に対して）

んまさあいや？

くわっちー さびたん！

- 召し上がりましたか？

うさがいびーたいや？

- お召し上がりがください。

うさがいんそーり。

- 何が好きですか？（好きか？）

ぬーが すいき やいびーが？（すいきが？）

- 何が嫌いですか？（嫌い？）

ぬーが すいき あいびらんが？（すいかんが？）



◆食味をあらわすことば

あふあさあん（〈味が〉うすい）

すー はらさあん（〈味が〉濃い・辛い）

すー ずーさあん（塩辛い）

んぎやさあん（苦い）

はたはん ちゃー（濃いお茶）

◆問いかけのことば

- 何でも聞いてください（聞いてね）。

ぬー やていん ちきんそーり。

ぬー やていん ちきば。

- 困ったことはありませんか？（ないか？）

ふまとうん ふとー あいびらにー？（なーにー？）





- ・どこへいらっしゃったんですか？（行ったの？）

まーち いきゃびたが？（んじゃが？）

- ・出身（生まれ）はどこですか？（目上の人に対して）

んまりじま まー やいびーが？

- ・出身（生まれ）はどこ？（同年や目下の人に対して）

んまりじま まーが？

⇒久高島出身（生まれ）ですよ。（目上の人に対して）

くだかじま んまり やいびんろー。

⇒久高島出身（生まれ）だよ。（同年や目下の人に対して）

くだかじま んまりる。

- ・久高島の言葉を教えてください（教えて）。

くだかじまぬ ふとぅば ならーしんそーり（ならーすいば）。

ならーしんそーり！

- ・お疲れでしょう。

ぐたやびたんみゃー。

- ・疲れませんか？

ぐたやびたいや？



- ・明日もお願いします。（目上の人に対しての帰り際の挨拶）

あちゃん うにげー さびーんろー。

- ・明日も頼むよ。（同年や目下の人に対する帰り際の挨拶として）

あちゃん うにげー すんろー。



- ・お先に失礼します。（目上の人に対して）

さあち ないびらいー。

- ・またね。また 来るよ。（同年や目下の人に対して）

またやー。また すーんろー。

さーびら！

- ・ごめんください。

さーびら。

- ・いらっしゃいませ（いらっしゃい）。

いめんそーり（いもーり）。

- ・いらっしゃいましたね。

いもーいんそーちゃんみゃー。

- ・気をつけてお帰りください。（「さよなら」の意味）

きー ていきてい へーいんそーりよー。

- ・太郎はいますか？

たろーや ぐやびーや？

たろーや ぐやびーや？

- ・太郎はいるよ。

たろーや ぐんどー（ぐさー）。

- ・用事があって来ましたよ。（丁寧な言い方）

ゆーじゅが あている さーびたすいが。

- ・太郎はいるの。用事があって来たけど。

たろーや ぐいや。ゆーじゅが あている すーすいが。

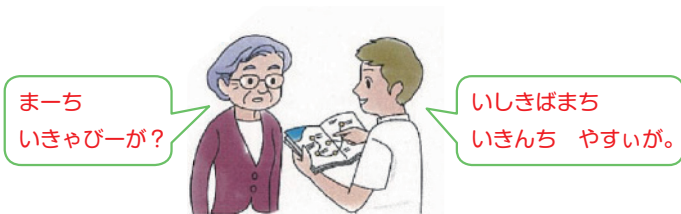




8, 久高島来訪者との会話



◆伊敷浜に行く



・どちらに行きますか？

まーち いきやびーが？

・伊敷浜まで行きたいのですが。

いしきばまち いきぶさが。

・歩いて行きますか？ それとも自転車ですか？

あっちる いきやびーに？ うんだ また じてん
しゃ やいびーに？

・歩いて行けますかね？

あっちん いかりやびーや？



・少し遠いので（遠いけど）、自転車で行くほうが良いで
すよ。

いふいぐわー すうーさくとう（すうーさが）、じ
てんしゃさーま いきすいる まっさんろー。

・自転車は借りられますか？

じてんしゃ はらりやびーや？



・はい、港の近くに貸自転車屋があるので、そこで借り
たらいいですよ。

うー、^んなとうぬ ちかさあかい かしじてんしゃ
やーが あくとう、ふまんじ はらりやびーんろー。

・はい、そこで借りることにします。

うー、ふまんじ はいんふとう さびんろー。

・料金はお幾らですか？

りのー ちゃっぴ やいびーがやー？

・一日で2千円になります。

ぴっちーさーま にせんえんだいびーる。

・ありがとうございます。久高島で遊んで（楽しんで）
ください。

にふえーでーびる。くだかじまんじ あすいびんそーり。





9, 地域の特徴



沖縄県の様子（うちなーぬ すいがた）

・沖縄県は日本でも唯一、亜熱帯地域に属し、一年を通して温暖な気候で、暮らしやすい地域となっています。青く広がる海は、美しい熱帯魚やサンゴなどの生き物の宝庫となっています。

そして、沖縄島のヤンバルや離島に残る森林には、日本や世界でもめずらしい動物や植物や昆虫たちが生息しています。また、鮮やかに咲き誇る花や緑豊かな樹木には、力強い生命力を感じます。



うちなーや につぼんぬ くにんじ ただ ちゅうく
ま、亜熱帯ぬ とうくま なてい、いちにんじゅー ぬ
くさぬ わーていき なてい、くらしん しーやっさ
ん とうくま やいびーん。おーるーく ふいるがとー
ん うみやー、いるぢゅらさ あてい 熱帯ぬ いゆや
ら さんぐとつかぬ うみぬ むんたーぬ たからばく
なとぅいびーん。

うんだ、うちなーぬ やんばる ふぁなりじまんかい
ぬくとーん むいとうか、やまとうかや 世界んかい
みじらさん いきむんや ひーとうか むしとうかん
いきち ぐやびーん。あんち、いるぢゅらさ さちふく
とーん ふぁなん おっーてん つーん ひーとうか
ん、ちからぢゅーさあ ぬちぢからが あいびーん。





●久高島の特徴

久高島は、知念半島の東方約5キロの場所にあります。
神の島・琉球の国造りの神話が残されている地です。
古い祭り等がたくさん残っています。

くだかじまー、ちねんじゃちぬ あがりかた セー
げー 5キロぬ ふあたんかい あいびーん。はみぬ
しま・りゅーきゅーぬ くにだていぬ ふあなしーが
ぬくさあつとういびーん ふあた やいびーん。
ぶるさあん まていーとうかが セーぶん ぬくとう
いびーん。

●観光案内

久高島をご案内しましょう。

くだかじま ぐあんねー さびら。



・フボー御嶽（ふぼーうたき）

久高島の北側にある御嶽で、最高の拝所です。男達は
(決して)入ってはいけない場所となっています。フボー
とは、クバの木のことです。名前通りフボーの木で覆
われています。

くだかじまぬ にしばらんかい あん うたきなてい、
まぎ うがんじゅ やいびーん。ゆきがんさーや いっ
ちゃーならん ふあた なとういびーん。ふぼーちゅー
さあ ふばぬ ひーぬ ふとう やいびーん。なーぬ
すうーい ふばぬ ひーが うぼーく あいびーん。





・御殿庭（うどうんみゃー）

12年に一度、午年に催されるイザイホーが行われた場所です。東からシラタルーの宮、神アシャギがあり、その隣には久高島特産のイラブーの燻製を作るバイカンヤーという建物も建っています。

じゅーににんに いっくわい、うまるしんかい さ
びーる いざいほーぬ あたん ふあた やいびーん。
あがりら しらたるーぐー、はんあしゃぎが あてい、
うんが すないかい くだかじま 特産ぬ っんなぎ
燻製すん ばいかんやーっち いやっとうーん やーが
たっちゅいびーん。



・伊敷浜（いしきばま）

昔、この伊敷浜にニライカナイから、稲、粟、豆、麦などの五穀の壺が流れ着いた島で、琉球の農耕の始まりとなった場所だと伝えられています。

むかし、いしきばまっち にらーはなーら、ふみ、あわ、
まみ、むじとうかぬ ぐくくぬ ていぶが ながりてい
ちゃん しま なてい、りゅーきゅーぬ ふあんしぐとう
ぬ はじまいぬ ふあたっち いやっとうい びーん。



↑伊敷浜のウブヌシガナシー（首里城再建）の祈り



・外間御殿 (ふかま うぶぐい)

外間ノロと並ぶ久高島の最高神女、外間ノロの屋敷です。外間ノロは、首里王府任命の公事ノロといわれています。外間御殿は、昭和初期まで聞得大君代理の神人が駕籠に乗ってやってきました。

くだかぬるとう ならり くだかじまぬ まぎ はみ
んちゅ、ふかまぬるぬ やしき やいびーん。ふかま
ぬるや すいらぬ めいれいさーま なとーん
くーじ ぬるっち いやっとういびーん。うぷぐいや、
昭和ぬ ふぁじみまでい ちふじんがなしーぬ はわ
いぬ はみんちゅが うちゅー ぬてい さーびたん。



[↑外間御殿旧正月の酌願い](#)

語って 使おう しまことば
『かたらな ていからな しまふとうば』
くだかふとうば（久高島ことば）

発行 日：2022（令和4）年3月27日
監修：加治工 真市（沖縄県立芸術大学名誉教授）
久高島ことば話者：西銘 政秀（久高）
（音声話者）：西銘 政秀、外間 長裕（久高）、
古堅 苗（久高）、西銘 喜一（久高）
発行 行：沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課
〒900-8570
沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
編集・制作：沖縄県文化協会 しまくとうば普及センター
（校閲）センター長 波照間 永吉
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2
番2号文化振興課内
制作・印刷：合資会社 沖縄時事出版
代表 名幸 諄子
編集責任 呉屋 栄治
〒900-0025 那覇市壺川1-3-10
TEL 098-854-1622（編集部）
原稿執筆・構成：宮城 一春

【写真提供】

「フボー御嶽・御殿庭・伊敷浜・外間御殿」（西銘政秀）
「久高島空撮・海中公園・やんばる国立公園」（沖縄観光コンベンションビューロー）